



依頼者	名古屋市立名東高等学校
タイトル	「グローバルな視点での環境問題（地球温暖化）の最新事情について」
<p>コーディネーターへの相談内容</p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際英語科 1 年生のワールドスタディーズの授業で、グローバルな視点で地球温暖化や環境について学ぶための模擬 COP (締約国会議) を行った。生徒たちの模擬 COP へのアドバイス、実際の COP20 (気候変動枠組条約第 20 回締約国会議) でどのような話し合いがなされたかについての講座ができる講師を紹介してほしい。</li> </ul>	
<p>コーディネーターの対応</p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>名古屋大学大学院環境学研究科 社会環境学専攻環境政策論講座 特任准教授 杉山範子氏を紹介した。</p> <p>○学習内容の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間を最大限に活かせるよう、これまでの授業内容や生徒の理解度、関心、希望する授業内容について担任に事前にヒアリングを行い、講師と共有する。</li> <li>教科担当からヒアリングした内容、生徒からの質問を踏まえ、授業を組み立てる。</li> </ul>	
<p>学習内容と当日の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化の問題は気候変動の問題（気候の危機）であることや、12月1日～12日ペルーのリマで開催された COP20 で話し合われた内容、今後の課題、地域気候政策について説明後、持続可能な社会について考えた。</li> <li>最初に、生徒たち自身が行った模擬国際会議の結果や感想について質問した上で、過去の COP の歴史的な流れを年表を示しながら解説し、今回の COP20 開催の位置づけと、その内容・結果について説明があった。事前に生徒から得ていた質問の回答にもなるように、講師から温暖化についてクイズ形式で質問が出され、生徒が回答し、理解を深めた。</li> <li>最後に、2050 年には生徒自身が社会の先頭に立っていること、まちづくり・地域づくりには 20～30 年という時間が必要であり、生徒たちがこれからすぐ考えていかなければ、今のままエネルギーを使い続ける社会になってしまうことなどが話され、生徒たちがどんな未来を目指すのか、生徒がこれから担っていく未来を考えさせられるまとめとなった。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">＜授業の様子＞</p>	
<p>コーディネーターに対する感想</p> <p>○依頼者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大満足です。</li> <li>大変良い機会を提供していただいた。</li> </ul>	

○外部講師

- ・コーディネーターが学校側との間に入って、必要な情報のみ、こちらに伝えて頂けたので、授業内容の準備に集中することができた。
- ・事前に、学校の担任の先生とやり取りをしていただき、必要な情報を頂くことができたし、こちらの要望も伝えて頂けた。

その他

特になし